

イタリアの販売会社SIRA社との関係を深め 欧州市場での伸長を目指していきます

本年10月、当社代表取締役社長荒賀誠と執行役員で海外事業本部本部長の小雲康弘が、イタリア・ミラノに本社をおくSIRA社を訪問し親交を深めました。
欧州市場での日東精工グループの展開をさらに拡大してまいります。

当社中期経営計画の戦略の一つにグローバル化の推進を掲げており、すでにこのニュースレターでもご紹介していますが、近年、成長著しいインド市場に目を向けインドの冷間圧造部品メーカーVulcan社とのM&Aを進めている一方で、欧州市場での事業拡大も視野に入れており、グループ会社の日東精工アナリテックの現地法人をドイツに新たにつくり、展示会などへも積極的に出展。10月に行われた「IZB (国際サプライヤー展)」では、ドイツの大手メーカーからもファスナー (ねじ) の引き合いをいただいています。

新規のお客様を開拓していく一方で、従来のお得意様との深耕も大事で、今回のドイツ「IZB」出展視察に合わせ、当社代表取締役社長荒賀誠と執行役員で海外事業本部本部長の小雲康弘がイタ



SIRA社のCEOほか幹部とともに当社代表取締役社長荒賀誠 (左から2番目) と執行役員の小雲康弘 (右から3番目)

リアへも足を延ばし、既にお付き合いのあるSIRA社を訪問しました。SIRA社は機械工具を扱う製造販売会社で、日東精工とはおもに産機事業本部の「ねじ供給機 (フィーダ)」を販売していただいています。同社は1972年に創業から、じつに半世紀以上のお付き合いがあるわけですが、今回の出張訪問で、両社のさらなる関係強化を確認することができました。

SIRA社はイタリア国内に多くの販売店をもっていますが、欧州大手メーカーとの取引実績も豊富で、今後さらにイタリア国内だけでなく周辺諸国へと販路を拡大していく計画があり、そこに日東精工の製品も積極的に拡販いただく。また産機事業の他の製品のみならず、ファスナー製品などについても新規検討いただき (2025年から本格的な拡販を開始予定)、日東精工グループのトータルファスニングソリューションの強みを訴求していただくことにもなりました。既に当社がターゲットユーザーとしていたイタリアの大手メーカーへの積極的な営業活動により他社製品からの置き換え受注に成功しています。またCE規格の改定により、従来機種のパージョンアップを図っていかねばなりません、その対応についても、欧州の規格事情に詳しいSIRA社からも助言をいただくことになっています。

また2025年にはSIRA社と合同でイタリアでの展示会にも出展する計画を進めており、信頼関係を深めてまいります。

今年も募集を開始します 「受験生応援ゆるみ止めねじ」

当社の樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を特別加工し、ゆるみにくい＝集中力持続で実力発揮のシンボルとして、受験生にプレゼントするキャンペーンは、冬の風物詩としてさまざまなメディアにも取り上げられています。

2014年の第1回から、これまで延べ7万5000人を超える方々にお贈りしてきましたが、今期も例年通り、募集を開始しました。募集開始を3回に分け、第1回は12月2日、第2回は2025年1月6日、第3回は同2月3日から、それぞれ先着100名にプレゼントするほか、グループ単位や学校単位での応募も別途受け付けています。身近なところに受験生がおられる方はぜひご案内ください。



詳細 & 応募は
▲から

ゆるみ止めねじ「NCグリップ」を 新発売!

11月1日に新製品「NCグリップ」の受注を開始しました。ねじ部にマイクロカプセル入りの接着剤を塗布し、ねじ込むことでマイクロカプセルが破壊され接着剤が滲み出し、硬化・固着作用によってゆるみ止め効果を発揮するというもので、従来品から発展させたものが「NCグリップ」です。新たなプレコート剤を採用したことで、エポキシ樹脂の速乾性が向上。従来品が安定した力を発揮するのに約12時間を要

したものが6分の1の2時間に短縮。

分解不能にしたい箇所や、振動や温度変化などの過酷な環境下で使用される場所で、威力を発揮します。プレスリリースはこちら



車載ディスプレイ、バッテリーバック、ドア部品などのほか、小型カメラ、医療機器、変速機、遊戯機、各種家電などへの採用を想定



▲より詳しい

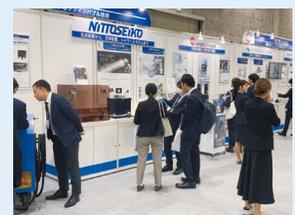
Exhibition

国内外での展示会で日東精工の高い技術力と 日東精工グループのシナジーを訴求しています

前号11月号では10月に国際的なサプライヤー業界の展示会ドイツ「IZB」に出展した模様を特集しましたが、当社では国内外の展示会に積極的に出展し、技術力の高さ、そして日東精工グループとしてのシナジーを多くの方々に訴求し、新しいお客様の開拓と既存のお客様との深耕を図っています。

11月13日～15日はインテックス大阪で「未来モノづくり国際EXPO2024」が開催され、当社もFBIAブース内にて、マイクロバブルシャワーシステム「パブリス」を実演デモしたほか、会期内セミナーでは当社社員が「洗浄分野におけるマイクロバブルの効果」と題し講演を行いました。また11月11日から29日までは「くるまからモビリティ」への技術展2024 ON LINE」が開催され、当社ではギザタイト、アスファWP、アルミタイトなどのファスナー製品に加えて、推力可変機能付きねじ締めロボットや高性能検査選別装置「MISTOL（ミストル）」を出展しました。

そして海外では11月20日から23日までタイ・バンコクで「METALEX2024」も開催。これはASEAN全域から国際ブランドの技術プロバイダーや流通業者、金属加工事業者などが一堂に会する展示会ですが、当社現地法人のNSTとTNMからもファスナー・産機の製品を出展しました。さらに12月4日から7日まではインドネシア・ジャカルタで「MANUFACTURING INDONESIA2024」も開催され、当社現地法人のNAIとINTがファスナー・産機・制御の製品を出展しました。



「未来モノづくり国際EXPO2024（上）」と「METALEX2024」

京都府知事から「きょうと健康づくり実践企業表彰」授与

ニューズレター10月号、11月号で当社の「健康経営」を取り上げ、そのなかで「第11回きょうと健康づくり実践企業表彰」での最優秀賞受賞も紹介してまいりました。京都府のホームページでは当社のことを「『健康で幸せを感じる働きやすさの追求』を掲げ、健康づくりを実践する経営を推進。生活習慣病リスク低減のため、食事・運動・喫煙・飲酒・睡眠・メンタルヘルス・ライフワークバランス・健康セミナー開催など多数の取り組みを実践。また、地域健康活動にも積極的に取り組む」と紹介されています。11月21日京都経済センターで開催された「ヘルス博KYOTO2024」のなかで、この授賞式が行われ、当社代表取締役社長荒賀誠が登壇し表彰を受けました。



西脇隆俊京都府知事から表彰状を受け取る当社代表取締役社長荒賀誠

日東精工SWIMMYが相談援助事業者として認定

10月29日に、当社の特例子会社（障害者の雇用に特別の配慮をした会社）である日東精工SWIMMY（株）が、「障害者雇用相談援助事業者」として認定を受けました。2024年4月からはじまった「障害者雇用相談援助事業」は、都道府県労働局長の認定を受けた事業者が障害者雇用の経験やノウハウが不足する事業主に対して、雇入れやその雇用継続を図るための一連の雇用管理に関する相談援助を行うものです。その事業者として認定された同社は、設備・環境面、制度面だけでなく、一人ひとりの特徴や特性を理解した定着支援に取り組むとともに、職場実習や工場見学を積極的に受け入れて来ました。今後も地域の障害者雇用推進により一層取り組んでまいります。



日東精工SWIMMY代表取締役社長 檀野佳子（右）



▲日東精工SWIMMYのホームページはこちらから

日東精工アナリテックヨーロッパ（NAE社）を訪問

日東精工アナリテックの各種分析機器は世界中から高く評価されており、世界約80ヶ国の代理店を通じて販売しています。とくに欧州においては需要が高く、さらなる事業の拡大が期待されることから、2023年にドイツ・デュッセルドルフに現地法人の日東精工アナリテックヨーロッパ（NAE）を設立しています。同社は日東精工アナリテックはもちろんですが、日東精工本体やグループの欧州市場販路拡大の足掛かりとなるものです。今般、10月にドイツで開催された「IZB」視察のおりにも当社代表取締役社長荒賀誠と執行役員の小雲康弘がNAE社を訪問しました



上/当社代表取締役社長の荒賀とNAE社のゼネラルマネージャー・ウラさん。下/分析機器の説明を受ける荒賀（左）

第3四半期決算を発表しました

当社ではコンプライアンスの遵守はもちろんのこと、経営の透明化を図っています。11月13日に第3四半期の決算発表を行いました。当社では現在、中期経営計画「Mission G-second」を進め、事業の成長と安定基盤の確立を目指しており、その進捗状況なども解説しています。当社では機関投資家、個人投資家の方々はもちろん、アナリスト、メディア、そして、地域にお住いの方など、できるだけ多くの方に当社の事業や製品のことをご理解いただき、そして応援をいただければと願っており、今後もさまざまな形で、情報を発信してまいります。



▲説明資料はこちらから

「ん」を味方につける

代表取締役社長

荒賀 誠

師

走になりました。文字通り、師僧（師である僧侶）も走る

ほど慌ただしい時節ですが、こんなときだからこそ、うっかりミスや怪我などに気をつけていきましょう。

下鴨神社では神様のことを（火水さん）という字を当てることがあるそうです。火も水もとても大切、欠かせないものだから神様（火水さま）ということなのでしょう。年末に向けて火の用心、水まわりの点検も念入りに行いたいものです。

12月21日は一年でもっとも日照時間が短くなる冬至です。この日に火焚きなどが行われるのは一年でいちばん弱まった力を蘇らせるためとい

われますが、この日を境に運気が上がっていくのが冬至なのです。

この日に「ん」が二つつくものを七つ食べると元気になるといわれています。なんきん（かぼちゃ）、人参、ぎんなん、饅頭（＝うどん）、うどんのこと）、金柑、蓮根、寒天ですが、地域によって、一部、内容は異なったりするようです。

昔からの風習を楽しんで取り入れていく、守っていく。こうした姿勢が運を呼ぶのかもしれないね。

今年一年間お世話になりました。感謝申し上げます。新しい良き一年を迎えられますよう心より祈念いたします。

「幸せ」を見つけるヒント ——— 12月

「感謝」を糧にする

先般、公益社団法人京都労働基準協会から「感謝状」をいただきました。長年、同協会の副会長ならびに福知山支部長を務めたことを評価いただいたものです。私は当社の会長兼CEOという職務のほか、綾部商工会議所会頭をはじめ綾部防犯協会会長、京都工業会の常任理事など外郭団体の役職を与えられ、お引き受けした以上は、どれも全力で取り組んでいきたいと考えています。

ご指名を受けた折に「私より相応しい人がいる」などといって断るのを「謙遜」ととらえられるかも

しませんが、「力不足のところもあるかと思いますが精一杯努めます。いたらぬ点があればお叱りください」と前向きにお役に立とうという姿勢のほうが、本当の意味での「謙遜」だと私は思います。

「謙遜」「謙虚」が自分を成長させる原動力。「感謝」を糧にこれからもがんばってまいります！

11月5日、ホテルグランヴィア京都で開催された式典で表彰を受ける材木（右）



日東精工代表取締役会長 綾部商工会議所会頭 材木正己

